

みなべ・田辺地域は 梅の一大産地

和歌山県は、梅さいばいにてきたあたたかい気^き温と土^おがあり、しゅうかく量^{りょう}は全国^{ぜんこく}の65% (73,200t) にもものぼります。また、炭^{すみ}づくりは、山^{まも}を守ることにつながっています。

和歌山県は
梅のしゅうかく量日本一!

しゅうかく量 **73,200t**
さいばいめん^{さいばいめん}積面積 **5,410ha**

そのうちの
85% (62,200t) が
みなべ・田辺地域で
つくられています。

(2018年現在)



もくじ

おりこみページ

「みなべ・田辺の梅システム」って何だろう?

世界農業遺産に認定されるまで

「みなべ・田辺の梅システム」のしくみを知ろう!

みなべ・田辺地域は梅の一大産地 1

里山

● 山を育てる炭づくりについて知ろう 2

梅林

● ミツバチによる梅の育て方について知ろう 4

● きずをつけない梅のしゅうかく方法について知ろう 6

ため池

● みなべ・田辺地域の生き物たちについて知ろう 8

里地

● さまざまな梅の産業について知ろう 10

● みなべ・田辺地域の農作物について知ろう 12

つたえよう

● 梅のすばらしさを広める活動について知ろう 14

「みなべ・田辺の梅システム」地域資源マップ 16



校外学習のポイント



● 調べたい内ようをはじめに決めよう

どんなことを調べるのか、考えておこう。

● 道具を用意しよう

ノートやえんぴつなど、必要なものを

一人ずつ用意しよう。

● きちんとメモをとろう

文字以外にも、写真やイラストも
後から役にたつよ。

● お話を聞いたらお礼を言おう

お礼をわすれず、ぎょうぎよくしよう。

里山

梅林

ため池

里地

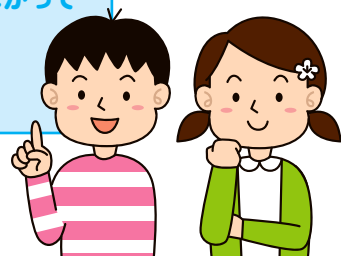
伝えよう

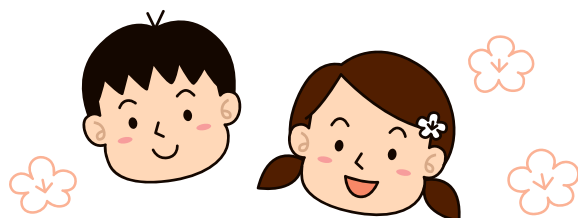
「みなべ・田辺の梅システム」 のしくみを知ろう!



400年以上も前から続くシステムです。
薪炭林を残すなど、ゆたかな自然を守り
ながら品しつのこのよい梅を生産せいさんしています。

自然と人がつながって
いることが大切
なんだね。





みんなにやさしい のうぎょう 農業のしくみ

里 山

炭をつくる仕事をして
山を守っているよ



炭となる林を育てると、地面に栄養や水分が
ふくまれ、山が元気になります。

ミツバチが受粉を
手伝って梅の実がなるよ



梅の実がなるには受粉が必要です。数が多
くて大変な作業をハチがおこなっています。

さまざまな生き物や
農作物があるね



さまざまな生き物や農作物が育つ、ゆたか
な自然かんきょうがあります。

里 地

梅のしゅうかく後の加工も
農家がしているよ



しゅうかくして天日干しする作業までを農家
がおこなって、加工業者が味つけしています。

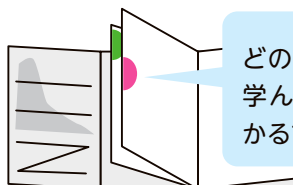


山が多くて平地が少なく、土に栄
養も少なかったみなべ・田辺地域
で、品しつのよい梅をつくること
ができたのは、人の手によって自
然かんきょうを守りながら、自然
の中で農業をするなど、おたがい
にやさしい農業のしくみがあった
からです。

上の図は、梅システムの流れです。
学習の内ように合わせて注目し
てみてね。

この本の使い方

左のページを開いたまま使うと「みなべ・田辺
の梅システム」のしくみがよく分かるよ。



どの部分について
学んでいるかが分
かるマークつき